

# FIELD MARKETING

OCTOBER 2022

YOUNG MEN

Kuriyama R&D Office

本資料は貴社業務の参考資料としての活用に  
限定し、社外秘資料として管理して下さい。

## INDEX

調査結果	1、2、3	無地シャツ	18、19
シャツジャケット	4	柄シャツ、ワンポイントロゴシャツ	20
デニムジャケット	5	無地ニット、ニットカーディガン	21
テーラードジャケット、ブルゾン	6	その他のニット	22
ナイロンジャケット、セットアップ	7	スリムパンツ	23
その他のアウター	8	デニムパンツ	24、25、26、27
無地カットソー	9、10	ストレートパンツ	28
ワンポイントロゴカットソー	11	テーパードパンツ	29
グラフィックカットソー	12、13	ワイドパンツ	30
その他のカットソー	14	カーゴパンツ	31
パーカ	15、16、17	その他のパンツ	32
		雑貨	33、34

撮影場所：竹下通り・新宿歌舞伎町周辺

撮影日：2022年10月8日(土)

撮影時間：13:00~16:00

天気：薄曇後一時晴

最高気温 20.9度

最低気温 12.1度

平均気温 16.1度

サンプル数：222

## 調査結果

大分類	中分類	小分類	着数	大分類構成比	中分類構成比
アウター	コート	ミリタリーコート	2	3.1%	100.0%
		合計	2	3.1%	100.0%
	ジャケット	シャツジャケット	17	26.1%	27.0%
		デニムジャケット	11	16.9%	17.4%
		テーラードジャケット	8	12.3%	12.7%
		ブルゾン	8	12.3%	12.7%
		ナイロンジャケット	5	7.7%	7.9%
		スリーブレスジャケット	4	6.2%	6.3%
		ジャケットセットアップ	3	4.6%	4.8%
		ノーカラージャケット	2	3.1%	3.2%
		スタジャン	2	3.1%	3.2%
		ボアジャケット	2	3.1%	3.2%
		レザージャケット	1	1.5%	1.6%
		合計	63	96.9%	100.0%
		合計	65	100.0%	—

## 調査結果

大分類	中分類	小分類	着数	大分類構成比	中分類構成比
トップス	カットソー	無地カットソー	64	26.4%	36.2%
		グラフィックカットソー	38	15.7%	21.5%
		ワンポイントロゴカットソー	22	9.1%	12.4%
		ボーダーカットソー	2	0.8%	1.1%
		パーカ	45	18.5%	25.4%
		カットソーカーディガン	3	1.2%	1.7%
		カットソーベスト	3	1.2%	1.7%
		合計	177	72.9%	100.0%
	シャツ	無地シャツ	30	12.3%	65.2%
		柄シャツ	11	4.5%	23.9%
		ワンポイントロゴシャツ	5	2.1%	10.9%
		合計	46	18.9%	100.0%
	ニット	無地ニット	7	2.9%	35.0%
		ニットカーディガン	5	2.1%	25.0%
		柄ニット	3	1.2%	15.0%
		ニットベスト	3	1.2%	15.0%
		ワンポイントロゴニット	2	0.8%	10.0%
		合計	20	8.2%	100.0%
	合計		243	100.0%	—

## 調査結果

大分類	小分類	着数	大分類構成比
ボトムス	スリムパンツ	56	25.2%
	デニムパンツ	55	24.8%
	ストレートパンツ	39	17.6%
	テーパードパンツ	25	11.3%
	ワイドパンツ	20	9.0%
	カーゴパンツ	12	5.4%
	ジョガーパンツ	5	2.3%
	ショートパンツ	4	1.8%
	フレアパンツ	3	1.3%
	セットアップ	3	1.3%
	合計		222

### ■ シャツジャケット

- 調査日は最高気温 20.9 度、最低気温 12.1 度、平均気温 16.1 度という結果だったが、222 名のサンプルのうちジャケット着用者は 63 名で 28.4% という結果だった。
- シャツジャケットは 4 月の調査でも着用率 1 位だったが、今シーズンのリサーチでも着用者は 17 名で最も着用者が多かった。着用率はジャケットの 26.1% だった。
- カラーはブラックが多く、そのほか、オフホワイトやグレーなどが着用されていたが、ブライトカラーなどの有彩色の着用は見られなかった。
- デザインは、フラップポケット付きの CPO タイプやカバーオール、ドリズラータイプなどさまざまなデザインが着用されていた。
- スタイリングではインナーにホワイトの CS を着用し、パンツはスリムシルエットの着用も見られたが、全体的にワイドやワイドストレートパンツが多く着用されていた。



### ■ デニムジャケット

- デニムジャケットはジャケット着用率2位で11名の着用者が見られた。
- ジージャンタイプのデニムジャケット着用者は約半数で、それ以外はシャツジャケットなどが多く着用されていた。
- カラーは、ワンウォッシュなどの濃色の着用も見られたが、全体的にはウォッシュされたライトブルーデニムが多く着用されていた。
- 基本的に、ブルーデニムが着用されており、カラーデニムの着用などは見られなかった。
- パンツにもジーンズをコーディネートしたデニムオンデニムスタイルも見られた。



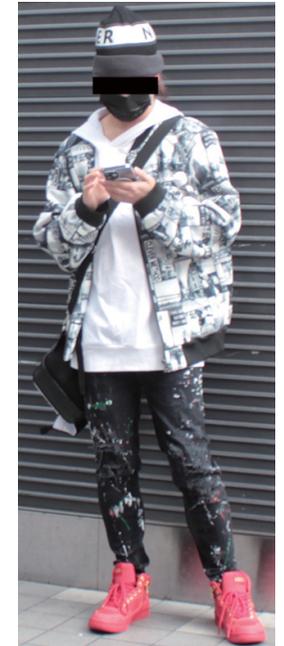
### ■ テーラードジャケット

- テーラードジャケットの着用率はジャケットで3位の着用率となっていた。
- キレイ目なコーディネートとラフでカジュアルなコーディネートが見られた。
- トラッドテイストのメタルボタンジャケットとカーゴパンツによるテイストミックスのコーディネートも見られた。
- テーラードジャケットの着用率はジャケットの12.7%だったが、2022年春の調査では着用は見られず秋物で着用者が多いアイテムとなった。



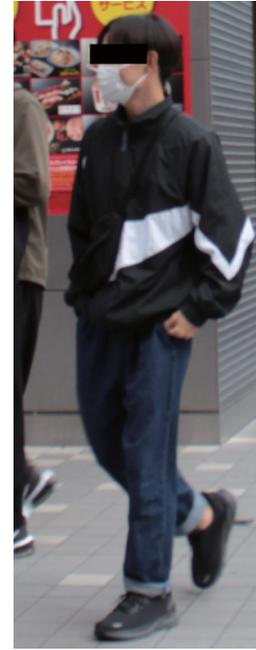
### ■ ブルゾン

- トレンドアイテムとなっている MA1をはじめ、スカジャンやプリントブルゾンなど裾リブ付きのブルゾンジャケットの着用が複数見られた。
- コーディネートはインナーにTシャツやパーカを着用し、パンツはスリム系のパンツを着用していた。



### ■ ナイロンジャケット

- ・着用者は少なかったが、ナイロン素材を使用したウインドブレーカーやフーディーの着用も見られた。
- ・無地のほか、ブロッキングや総柄プリントの着用も見られた。



### ■ セットアップ

- ・春、秋共に人数は少ないがセットアップの着用者が今回も3名見られた。
- ・インナーにはTシャツを着用、ラフなコーディネートとなっていた。
- ・無地のほか先染めチェックの着用も見られた。



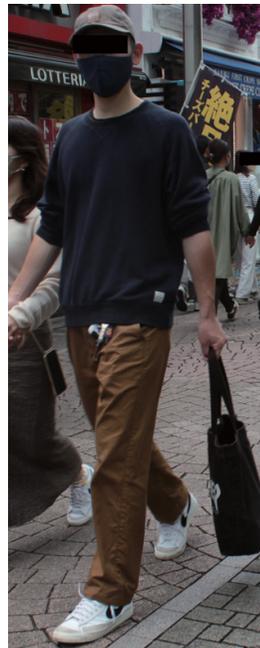
### ■ その他のアウター

- その他のアウターではスリーブレスジャケットの着用者が比較的に多かった。シンプルなデザインからユーティティ性の高いフィッシングベスト、ダウンベストなどさまざまなデザインが着用されていた。
- そのほか、レディースで多かったライダーズジャケットやスタジアムジャンパー、ミリタリージャケット、ボアジャケットなどもそれぞれの着用者は少なかったが着用されていた。



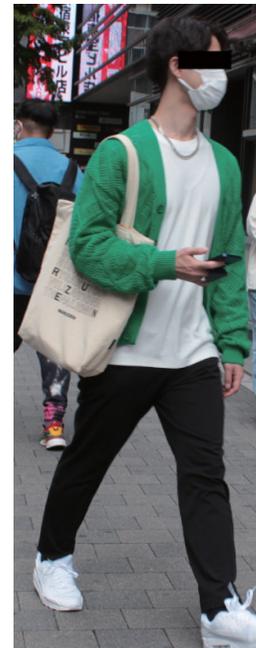
## ■ 無地カットソー①

- トップスの着用率は、カットソー 72.9%、シャツ 18.9%、ニット 8.2% の比率でカットソーの着用者が非常に多く、逆にニットの着用者が非常に少ない結果となった。この傾向はレディースでも同様であった。
- カットソーでは様々なアイテム、デザインの着用が見られたが、無地のカットソートップスが最も多く、カットソー着用者の 36.2% の着用となっていた。
- 単品トップスの無地カットソーでは、ゆったりとしたシルエットのスウェットタイプが多く着用されていた。
- カラーは、オフホワイトやブラックが多く、そのほか、ベージュやブラウンなどのカラーも着用されていた。オレンジやブルーなどのカラーズウェットの着用も見られたが着用者はわずかだった。



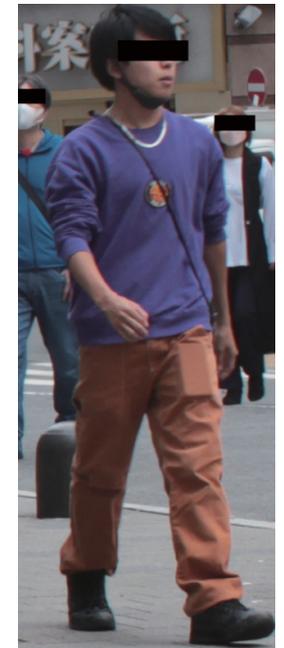
### ■ 無地カットソー②

- ・ インナーアイテムとして着用されているカットソーではTシャツの着用者が非常に多かった。
- ・ カラーはホワイトが非常に多く、その他ではブラックが多く着用されていた。ブラウンやベージュの着用も見られたがわずかだった。
- ・ インナーで着用されているTシャツでも、コンパクトなものは少なく、全体的にルーズなシルエットが多く、ウエストアウトでの着用者が多く見られた。



### ■ ワンポイントロゴカットソー

- 単品トップスとしての着用では、無地のほか、胸元などにブランド名やブランドロゴなどの刺繍やプリントを施した、スウェットの着用者も数多く見られた。
- 無地のスウェット着用者 64 名に対して、ワンポイントのスウェットは 22 名で約 3 分の 1 の着用となっていた。
- ワンポイントロゴのカットソーでは無地と比較するとブラックの着用者は少なく、オフホワイトやベージュ、ライトグレーなどの着用者が多く見られた。
- スウェットのほか、Tシャツタイプのデザインの着用者も一定数見られた。



## ■ グラフィックカットソー①

- ・ カットソーでは、無地、ワンポイントのほか、さまざまなプリントなどのグラフィックを施したトップスの着用者が非常に多かった。
- ・ 無地のカットソートップス 64 名に対して、グラフィックプリントなどを施したカットソーの着用者は 38 名という結果だった。
- ・ 前身ごろにプリントを施したTシャツタイプのほか、袖山にプリントを入れたデザインの着用も見られた。
- ・ ジャケットインとしての着用も、単品トップスとしての着用も見られた。目立ったグラフィックの傾向は見られなかったが、フォトプリントなどは減少傾向にありアニメやイラストなどのグラフィックが多く見られた。



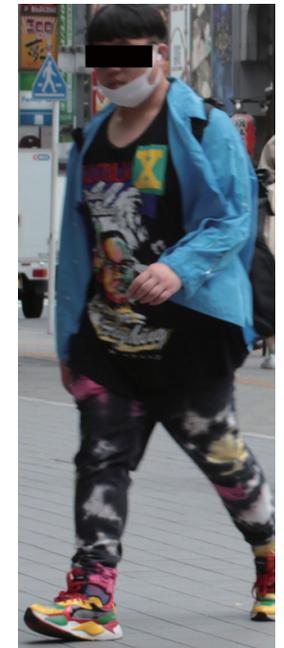
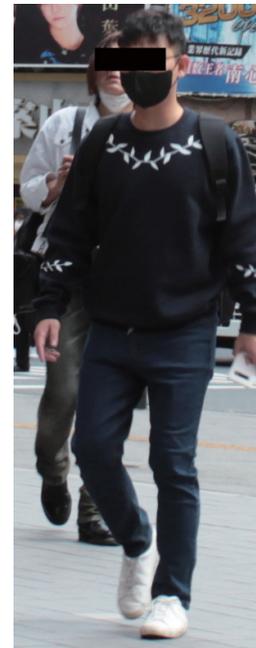
### ■ グラフィックカットソー②

- 2021年から継続してカレッジタイプのタイポグラフィプリントを施したスウェットの着用者が見られた。
- カラーではブラックベースは見られず、ホワイト、ライトグレー、ネイビーなどのトラディショナルカラーが活用されていた。



### ■ グラフィックカットソー③

- ストリートテイストの派手なグラフィックプリントを施したカットソーの着用者も多く見られた。
- 大半がブラックベースで、その他のカラーではイエローやパープルの着用も見られたがわずかだった。
- ストリート系のトレンドをけん引しているアイテムでもあり、必ず一定量の着用が見られることから継続して重要なアイテムであると考えられる。



### ■ その他のカットソー

- そのほか、着用者はわずかだが、カットソー素材によるベストやカーディガンの着用が見られた。
- レディースヤングでも増加傾向にありニットに変わるアイテムとして、今後は増加する可能性があると思われる。



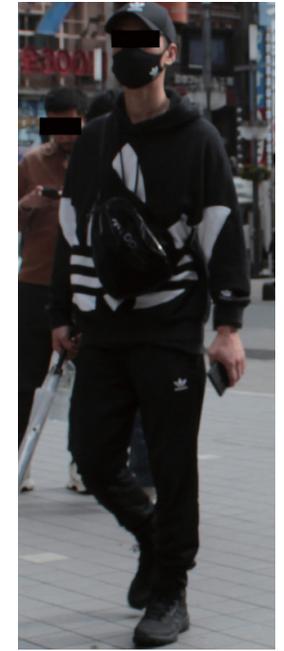
### ■ パーカ①

- パーカはカットソーの25.4%と無地カットソートップスに次いで多くの着用者が見られた。
- パーカでも、無地、グラフィックプリント、ワンポイントなどさまざまなバリエーションが見られた。
- 無地パーカでは大半がプルオーバータイプでフロントフルジップのパーカ着用者は少なかった。
- パーカの場合は、無地スウェットと比較するとブラックの着用者は少なく、オフホワイト、グレー、ベージュなどが多く着用されていた。また、イエローやモスグリーンの着用も見られた。



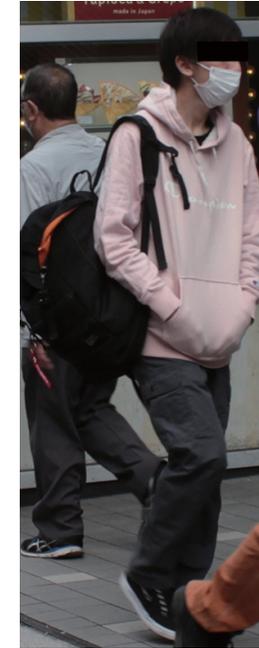
## ■ パーカー②

- ・ 無地ではブラックの着用者は少なかったが、フロント部分にグラフィックプリントを施したパーカーでは、ブラックの着用者が多く見られた。そのほか、イエロー、グリーン、レッドなど明るいカラーの着用も見られた。
- ・ スウェット同様、タイポグラフィ、フォトプリント、ブランドロゴ、イラスト、アニメなどさまざまなグラフィックが使用されていた。



### ■ パーカ③

- 胸元などにワンポイントのロゴなどを取り入れたパーカは少数であるが着用されていた。
- ブラックは少なく、オフホワイトやグレーなどのベーシックカラーのほか、ピンクなどのパステルカラーの着用も見られた。



## ■ 無地シャツ①

- シャツは 2021 年春の着用率がトップスの 21.8% であったのに対し、今回のリサーチでは着用率が 18.9% とやや減少していた。
- ただし、無地シャツの着用者は、春、秋共に 30 名で変化はなかった。
- 無地シャツの着用では単品トップスや羽織アイテムとしての着用とインナーアイテムとしての着用の両方が見られたが、インナー着用は少なかった。
- 単品トップスとしての無地シャツ着用では、ブラックのパンツにホワイトのシャツをコーディネートする人が多く見られた。一方、インナーにホワイトのTシャツを着用して、シャツを羽織るコーディネートでは、ブルー系のカラーを着用する人が多かった。



### ■ 無地シャツ②

- プルオーバーやベスト、ジャケットのインナーとして無地シャツを着用する人も見られたが少数だった。
- ホワイต์が中心だが、ブルー系のシャツをインナーアイテムとして着用する人も見られた。



### ■ 柄シャツ

- 2021年春に22名の着用者だった柄シャツは今回のリサーチでは11名と半減していた。
- 綿の先染めストライプシャツの着用者が最も多く、そのほか、先染めチェックや総柄プリントの着用者が見られた。
- カラーはブルー系カラーが多く着用されていた。



### ■ ワンポイントロゴシャツ

- 胸元にワンポイントの刺繍などを施した無地ベースのシャツ着用者が少数だけ見られた。
- ラルフローレンなどのブランドロゴが多く着用されていた。
- カラーはホワイトのほかブルー、キャメルベージュ、ダークブラウンなどが見られた。



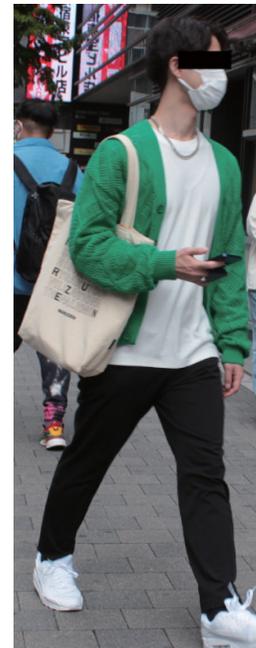
## ■ 無地ニット

- ニットの着用者はトップスでは最も少なく、トップスの8.2%だった。
- この傾向は、レディースやアダルトメンズでも同様の傾向であった。2022年秋のリサーチにおいて、ニットの着用率は、レディースヤングでは33.9%、キャリアでは21.1%、アダルトメンズでは17.1%という結果だった。このことから、レディースよりもメンズはニット着用率が低く、アダルトよりもヤングは着用率が低いことが分かった。
- 着用されていたニットプルオーバーはクルーネックのミドルゲージニットが多く、全体的にシンプルなデザインが多く見られた。



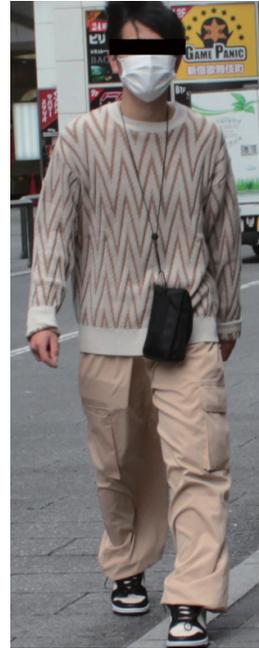
## ■ ニットカーディガン

- ヤングメンズではカーディガンの着用者も多く、インナーにTシャツを着用してカーディガンを羽織る着こなしが多く見られた。
- カラーはベーシックカラーのほか、グリーンなどのブライトカラーの着用が見られ、ダイヤ柄などのインターシャニットの着用も見られた。



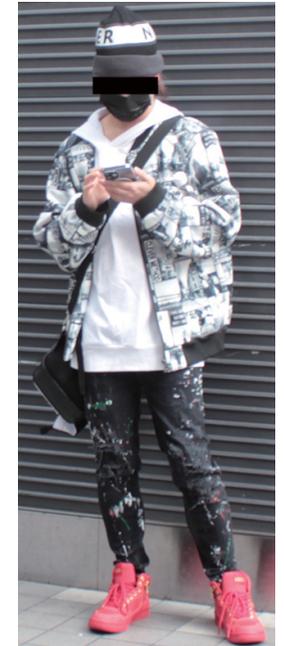
### ■ その他のニット

- その他のニットでも柄物のニットの着用が見られた。ニットでは前年まで無地が多かったことから、柄ニットは新たなアイテムとして着用されていると考えられる。
- レディースでも見られている、ブランド名などをインターシャで表現したニットプルオーバーやボーダージャカードの縞柄ニット、ヘリンボン柄ニットなどが着用されていた。
- ルーズシルエットのチルデン風ニットベストの着用者も見られた。



## ■ スリムパンツ

- 今回のリサーチにおいては、9つのアイテムに着用していたパンツを分類できた。(セットアップパンツを除く) このうち、上位7アイテムは、1位、スリムパンツ、2位、デニムパンツ、3位、ストレートパンツ、4位、テーパードパンツ、5位、ワイドパンツ、6位、カーゴパンツ、7位、ジョガーパンツであったが、この順位は2022年4月の調査結果と同じ結果だった。
- このことから、現在のマーケットにおいて、トレンドの変化は限定的で、トレンドサイクルのロング化が発生していることが考えられる。
- スリムパンツの着用率は25.2%で4人に1人の割合で着用されていた。
- ブラックが多く、トップスはルーズなアイテムでルーズ&スリムのシルエットが多く見られた。



### ■ デニムパンツ①

- ・ スリムパンツに次いで多く着用されていたパンツはデニムパンツで着用率は 24.8% だった。
- ・ デニムパンツも様々なシルエットのパンツが着用されていたが、デニムの場合もスリムパンツが最も多く着用されていた。
- ・ ウォッシュされたライトブルーデニムからワンウォッシュなどのダークなインディゴブルーまで幅広いカラーのデニムが見られた。
- ・ スリムシルエットのデニムパンツの場合も、スウェットなどを中心にルーズなトップスが多く着用されていた。



### ■ デニムパンツ②

- デニムパンツでスリムシルエットの次に多くの着用が見られたのはストレートシルエットのパンツだった。
- コロナ禍において着用者が増加した汎用性の高いストレートシルエットは今シーズンも健在で多くの着用者が見られた。
- ストレートシルエットのデニムパンツもライトブルーからインディゴブルーまで様々な濃度のデニムが着用されていた。



### ■ デニムパンツ③

- 増加傾向にあるワイドシルエットのパンツは3番目に着用の多いアイテムとなっていた。
- ボリュームがあるため、ハードなデニムではなく、ソフトな風合いのデニムやドレープ性のあるデニムが着用されていた。ホワイトデニムも見られた。
- リラックスムードが求められていることもあり、ストリートテイストではないスタイルでもワイドシルエットのパンツが着用されていた。



### ■ デニムパンツ④

- 着用者の人数は多くないものの、テーパードシルエットのデニムパンツの着用者も見られた。
- トップスではルーズシルエットのカーディガンやスウェットが着用されており、ストレートパンツと同じようなスタイルが多く見られた。



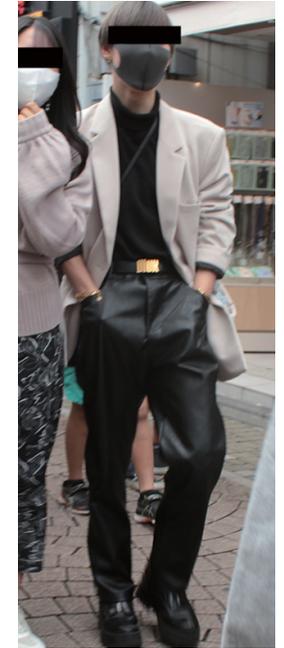
### ■ デニムパンツ⑤

- クラッシュデニムなどの加工を加えたデニムの着用者も見られた。春のリサーチでは側章やプリントデニムが見られたが秋のリサーチでは見られなかった。
- 全体的にシンプルでオーセンティックなデザインが増加傾向にありデニムにもその傾向が反映されていると思われる。



### ■ ストレートパンツ

- ストレートパンツは、スリムパンツ、デニムパンツに次いで着用者が多く、着用率は17.6%だった。
- シルエットはスリムストレートよりも、ややゆとりのあるワイドストレートが多く着用されていた。
- カラーは、ストレートパンツ着用者の約半数がブラックを着用していた。その他ではホワイト、ベージュ、グレー、ブラウンなどが着用されていたが、ブライトカラーなどのカラーパンツの着用は見られなかった。



### ■ テーパードパンツ

- テーパードパンツの着用率は11.3%で4番目に多くの着用が見られたアイテムとなっていた。1位のスリムパンツから4位のテーパードパンツまでが10%以上の着用率で、上位4アイテムで全体の約80%の着用となっていた。
- テーパードパンツでは、カジュアルなコットンツイルやチノーズなどの素材も見られたが、ストレッチポリエステルなどソフトな風合いの素材も多く着用されていた。
- カラーはブラックが主流で、そのほか、ホワイトやグレー、ベージュなどが着用されており、迷彩柄のテーパードパンツの着用も見られた。



## ■ ワイドパンツ

- 2022年4月のリサーチで10.6%の着用率だったワイドパンツは今回の調査では9.0%に着用率が減少していた。
- ワイドパンツでもブラックの着用が多く、そのほかホワイトやベージュ、ブラウンなどのカラーが着用されていた。グリーンやターコイズの着用も一部で見られた。
- 比較的ボリュームのあるトップスとのコーディネートでリラックスムードが感じられた。
- 今シーズンのリサーチでは、カレッジテイストなどは継続されていたものの、ストリートやスポーツ、ワーク、アウトドアなど明確なテーマの感じられるスタイルは減少していた。



### ■ カーゴパンツ

- カーゴパンツの着用率は5.4%だった。カラーはブラックのほか、アイテム特性から、カーキなどのミリタリーカラーの着用者が多かった。
- 着用率は高くないものの、コレクションなどでの注目度は高まっているので、今後の着用率の増加に期待したい。
- 素材は、カジュアルなコットン素材が中心となっていた。



### ■ その他のパンツ

- そのほか着用者の人数は少ないものの、ハーフパンツやジョガーパンツ、フレアーパンツなどが着用されていた。
- 調査日の最高気温は 20.9 度だったが 4 名のショートパンツの着用が見られた。また、継続アイテムであるがジョガーパンツも 5 名の着用が見られた。



BAG

ショルダーバッグ 75 42.8%  
リュック 40 22.9%

トートバッグ 42 24.0%  
ボディバッグ 18 10.3%

合計 175

ショルダーバッグ



トートバッグ



リュック



ボディバッグ



# 2022 OCTOBER YOUNG MEN FIELD MARKETING

## SHOES

スニーカー	165	74.3%	
その他 (ローファー、サンダル、トレッキングブーツ、 レースアップシューズなど)	57	25.7%	
	合計	222	

### スニーカー



### その他



## HAT&CAP

ベースボールキャップ	15	ニットキャップ	5
バケットハット	8	キャスケット	2
	合計	30	

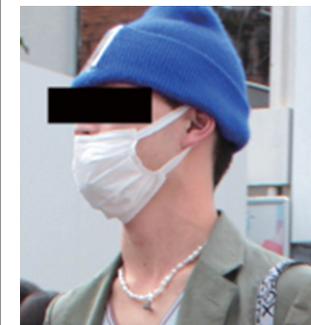
### ベースボールキャップ



### バケットハット



### ニットキャップ



## MASK

ホワイト	122	55.0%	ノーマスク	26	11.7%
ブラック	51	22.9%	カラー	23	10.4%
	合計	222			

### ホワイト



### ブラック



### カラー



# FIELD MARKETING

OCTOBER 2022

YOUNG MEN

---

– PICTURE LIST –

# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST

ミリタリーコート



シャツジャケット



シャツジャケット



デニムジャケット

デニムジャケット



テーラードジャケット



# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST

テーラードジャケット



ブルゾン



ナイロンジャケット



ナイロンジャケット



スリーブレスジャケット



スタジャン



ノーカラージャケット



レザージャケット



ボアジャケット



ボアジャケット



# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST

無地カットソー



無地カットソー



無地カットソー



# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST

無地カットソー



無地カットソー



無地カットソー

グラフィックカットソー



# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST

グラフィックカットソー



グラフィックカットソー



グラフィックカットソー



ワンポイントロゴカットソー

# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST

ワンポイントロゴカットソー



ワンポイントロゴカットソー

ボーダーカットソー

パーカ



パーカ



# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST

パーカ



パーカ



パーカ

カットソーカーディガン

カットソーベスト

無地シャツ



# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST

無地シャツ



無地シャツ



無地シャツ

柄シャツ



# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST

柄シャツ



ワンポイントロゴシャツ



無地ニット



無地ニット



ニットカーディガン



ニットベスト



柄ニット



柄ニット



柄ニット



# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST

スリムパンツ



スリムパンツ



スリムパンツ



# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST

スリムパンツ



スリムパンツ



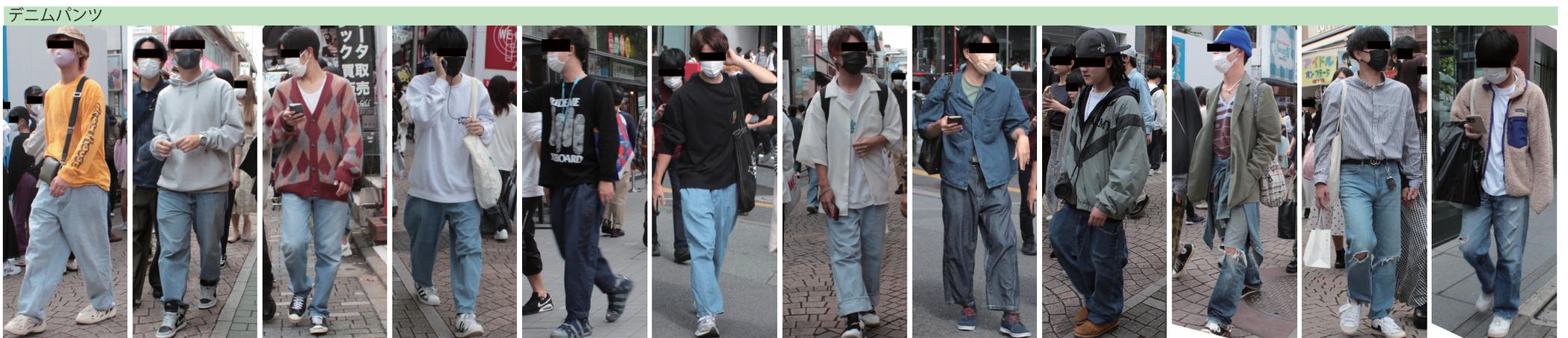
デニムパンツ



デニムパンツ



# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST



# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST



# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST

ストレートパンツ



テーパードパンツ



テーパードパンツ



テーパードパンツ



ワイドパンツ





# 2022 OCTOBER YOUNG MEN PICTURE LIST

フレアパンツ



セットアップ

